

自然観察指導員の方必見の会報特集号

紹介文：自然観察指導員講習会講師 植原 彰

価格：2019年9/10月号＝500円、それ以外＝300円

(1) 2015年5/6号 輝け！自然観察指導員

自然観察指導員の活動に関する年表やグッズのあれこれ(指導員バッジがあったのを知っていますか?)、都道府県ごとの講習会開催など、指導員に関わるデータが一挙公開されています。また、指導員の活動がいかにか「自然を守る」につながったか、3人の指導員の活動例と込められた想いをお読みください。



(2) 2016年1/2号 石ころの世界はワンダーランド

石ころ観察の適地はどんなところか、どんな持ち物があると観察が楽しくなるか、「お気に入りの石を探そう」「ルーペで見てみよう」「磁石を近づけてみよう」「塩酸を含む洗剤を垂らしてみよう」「似ているものでまとめてみよう」など観察のヒントと、石ころ観察のための基礎知識を絞って紹介しています。



(3) 2017年1/2号 自然保護に役立つ写真術

「身近な生きものを撮るコツ10」「人の表情や自然の魅力を撮るコツ10」は、すぐにでも使える撮影ノウハウです。それだけでなく、フォトブックやSNS、ウェブでの写真の扱い方など、「撮った後」の写真活用術も紹介。撮った写真は「自然の移り変わり」「人や社会の移り変わり」の動かぬ証拠でもあります。



(4) 2017年3/4号 自然観察を「みんなで」楽しむコツ

「五感を活用させよう」「即答は避けよう」「常連・ものしり子ども博士には」「説明よりも質問を」「そろってから見せよう」「専門用語はほどほどに」などいろいろな一手が、かわいいイラストとともに紹介されています。さて、最後の48手目は、何だと思いませんか?



(5) 2019年9/10月号 感じてつながるネイチュア・フィーリング

「ネイチュア・フィーリング」は、からだの不自由な人もそうでない人も含めて、あらゆる人に観察会に参加してもらい、五感を使って自然を観察しようという、NACS-Jが進める自然観察会にとっての大切な理念です。五感の使い方が異なる人に参加してもらうことで、観察会で自然を感じ取れる幅はぐっと広がります。提唱されて2019年で30年。「(からだの不自由な人にかぎらず)あらゆる人と、五感で感じ、言葉で伝えて共有する」ネイチュア・フィーリングの魅力を確認しましょう。



(6) 2014年1/2号 暮らしの中にある自然保護

こんな自然保護、あんな自然保護、ありえない自然保護(!?)など、多様な自然保護活動を二十数例ご紹介します。自然は多様、人も多様なので、自然保護の在り方も多様。あなたに合った、日々の暮らしの中でもできる自然保護活動がきっとあるはずです。また、たとえば「国産材を使う大切さは分かるけど、どうしたらいいか分からない」といった方もいると思います。取り組み・活動の事例・情報も多数掲載されています。



(7) 2011年11/12月号 日本人なら知っておきたい森の常識 30

「森の国」日本で、「森の観方」を知っていることは、森で自然観察会を行う時の強みになるだけでなく、森の保全や森づくり、ひいては地域の森の未来を考える上でもとても重要です。この号では「森と林はどう違うか」「森はずっと同じ姿か」「森にはどんなタイプがあるか」「生きものの種類が多い森は?」「土砂災害が起きやすい森は?」など、30の素朴な疑問と森のスペシャリストからの回答によって「森の観方」を伝授します。

